



四谷一丁目遺跡 いせきはっくつ 遺跡発掘だより その巻



いせきはっくつちょうさちゅう ただいま、遺跡発掘調査中！

えどじだい いせき
現在は、江戸時代の遺跡調査を行っています。このあたりは、江戸時代の初めから、
しおちょう こうじまち
「四谷塩丁(町)一丁目」と「麹町十一丁目」の町屋があった場所です。調査が進むにつれて、かつて四谷に暮らした町人たちがどのような生活を営んできたのか、少しずつわかってきました。さらに江戸時代の地面の下には縄文時代の地層が残り、土器のかけらも見つかっています。今後、発掘でわかってきた成果をご紹介します。

【嘉永3年（1850年）の四谷の絵図】

「千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ツ谷絵図」（新宿区教育委員会『地図で見る新宿区の移り変わり 四谷編』より）

